

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
2	進学一貫	国語	古典	理系	必修	2

講座のねらい

古文：物語・日記・随筆など多くのジャンルの古文に触れ、作者や作品の文学史上の知識、古典常識の知識の修得に努めます。助詞と助動詞を中心に、丁寧な口語訳を行い、古文読解の向上と作品の理解に努めます。

漢文：故事、寓話、漢詩、歴史的な漢文を読み、中国の歴史の背景や作品の持つ意味を学びます。漢詩の分類（絶句・律詩）や漢詩の技法（対句や押韻等）の知識をつけます。やや長めの漢文を読み、そこに現れる主な句形や重要語（漢字）のはたらきを理解し、正確な漢文読解が出来るようにします。

使用教材及び問題集

古文の教材：『改訂版古典B（古文編）』（数研出版）
『新修 古典文法』（京都書房）『重要 古文単語 315 三訂版』（桐原書店）
古文のワーク・プリント類
漢文の教材：『改訂版古典B（漢文編）』（数研出版）
『漢文必携』（桐原書店）
漢文のワーク・プリント類
共通の教材：『新版三訂 カラー版新国語便覧』（第一学習社）

授業の内容と進め方

古文：予習として、単元の原文をノートに書き写します。助詞と助動詞を中心に品詞分解を行います。難語句の意味を調べ、口語訳を行きましょう。授業は品詞分解と口語訳を中心に、指名しながら本文の読解を行います。単元終了後に演習問題を利用して、文法の理解や読解力を身につけるようにします。

漢文：予習として、単元の原文（白文）をノートに書き写します。教科書の訓読文を参考に、書き下し文を書きます。重要語を辞書で調べ、口語訳を試みましょう。授業では、指名読みの後、書き下し文を参考に、白文に送り点送りがなを施します。また、重要語や句形を中心に口語訳を行います。単元終了後の演習問題により定着を図ります。

講座の到達目標

古典文法や語彙、古文常識、漢文の句形や語句の意味を定着させ、センター試験や国公立大学二次試験を意識した学習を行います。

評価の観点・テスト・課題など

定期考査を中心に、小テスト、課題やノートの提出状況、授業態度や発言内容などを加味し、総合的に評価します。提出物については、期限を厳守することを求めます。

備考

※提出物と課題：漢文と古文のプリントを課題として配布する予定です。課題や提出物は提出期日を厳守させます。内容や提出期日を成績に反映させます。

※単元演習：古文、漢文共に単元終了時に演習プリントを実施する予定です。

授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容

〈教科書内容・古文〉

- ・十訓抄（鎌倉時代の説話）「大江山」：助動詞と助詞の品詞分解と和歌の修辞を中心に文法の復習を行います。
- ・徒然草（鎌倉時代の随筆）「あだし野の露」：助詞（のみ・ばかり・だに等の副助詞を中心に）や助動詞の働きを理解した上で口語訳を作成します。
- ・方丈記（鎌倉時代の随筆）「ゆく河の流れ」：文体の特徴（対句・和漢混淆文）を捉え、栄枯盛衰・盛者必衰の主題の理解に努めます。

〈教科書内容・漢文〉

- ・故事・寓話 「漱石枕流」「画竜点睛」
：疑問・反語形、使役形を学びます。再読文字や重要漢字の復習をしながら口語訳を行い、故事から作られた慣用表現について理解を深めます。

〈その他〉 単元ごとに演習プリントの実施。
課題（古文・漢文）

2 学期 学習計画および学習内容

〈教科書内容・古文〉

- ・伊勢物語（平安時代の歌物語）「通ひ路の関守」：在原業平と伊勢物語。
- ・枕草子（平安時代の随筆）「すさまじきもの」：清少納言の考えを読み取り、当時の人々の趣向と現在の感覚の相違を探ります。
- ・大鏡（鎌倉時代の歴史物語）「花山天皇の出家」：大鏡を始めとした歴史物語を知ると共に、藤原氏の家系について学びます。最高敬語や二方面への敬語についての理解を深めます。

〈教科書の内容・漢文〉

- ・絶句 「勸酒」「雨中登岳陽樓望君山」・律詩 「黃鶴樓」
：漢詩の分類を復習し、絶句と律詩の特徴（押韻・対句等）を押さえます。

〈その他〉 単元ごとに演習プリントの実施
課題（古文・漢文）

3 学期 学習計画および学習内容

〈教科書内容・古文〉

- ・源氏物語（平安時代の物語）「光源氏誕生」：源氏物語についての文学史的知識をつけます。女性の位や男性の官位について学びます。「に」の識別や主語の確認をしながら口語訳を行い、内容の把握をします。

〈教科書内容・漢文〉

- ・先哲の思想：諸子百家の思想について知識を整理するとともに、その内容についても理解します。

〈その他〉 単元ごとに演習プリントの実施
課題（古文・漢文）